

## 第 3357 回例会 (令和 4 年 6 月 15 日・水)

### 今週のプログラム

6 月 15 日 (水)

「最終夜間例会」

理事・役員・委員長 活動報告

### 次週のプログラム

7 月 6 日 (水)

「新年度理事・役員・委員長就任挨拶」

理事・役員・委員長

### 2022年6月～7月の予定

6 月 15 日 (水) 最終夜間例会 平安の間  
18:30～19:00 活動報告  
19:10～20:30 懇親会  
※昼の例会はありません。

※ 6 月 22 日 (水) 休会

※ 6 月 29 日 (水) 休会

7 月 6 日 (水) 新年度初例会  
定例理事会

7 月 13 日 (水) 古志勝俊ガバナー補佐クラブ協議会  
13:40～15:00 ラマージュ

※ 7 月 20 日 (水) 休会

7 月 27 日 (水) 友栄誠夫ガバナー公式訪問例会 (A方式)  
会長・幹事懇談会  
11:00～12:00 2F 「喫茶個室」  
公式訪問例会  
12:30～13:30 1F 「松」

### ●例会変更のお知らせ

月 日	クラブ名	受付場所
6月16日(木)	松 江 東	ホテル一畑
6月20日(月)	松 江 南	松江エクセルホテル東急
6月21日(火)	松江しんじ湖	すいてんかく
6月23日(木)	松 江 東	ホテル一畑
6月27日(月)	松 江 南	松江エクセルホテル東急
6月28日(火)	松江しんじ湖	すいてんかく
6月30日(木)	松 江 東	ホテル一畑

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため状況により急遽変更（ビジター受付なし）もございますので事前に事務局へ確認願います。

### 第3356回例会記録

令和 4 年 6 月 8 日 (水・晴れ)

	会員数 (人)	出席者数 (人)	欠席者数 (人)	出席率 (%) (出席免除会員含む)	前々回補正 (%) (出席免除会員含む)
松江クラブ	64	46	18	82.14	95.16

ビジター：青木、上田（衛星クラブ）

メークアップ：櫻井（松江南）、永通（松江東）、天野、井上、飯盛、菅野、艸葉（オンライン）  
加藤、河原、庄谷（新旧クラブ協議会）

### 会 務 報 告

#### 小林会長

- ガバナー補佐の最後のクラブ訪問です。  
櫻井誠己ガバナー補佐  
原田光明ガバナー補佐幹事 紹介
- 櫻井誠己ガバナー補佐 ご挨拶



- 本日は職場訪問例会  
JR西日本後藤総合車両所工場内見学です。

#### 景山幹事

- 本日は職場訪問例会  
和田昇司職業奉仕委員長の御世話でJR西日本後藤総合車両所工場内見学。食事を済ませバスで往復移動。〈午後4時30分にホテル一畑へ戻る予定〉
- 財団寄付と米山寄付は6月1日と本日分をまとめて今週送金。
- 次週6月15日（水）午後6時30分からは最終夜間例会です。理事、役員、委員長の皆さんには活動報告をお願いします。そのあと、懇親会です。昼の例会はありません。

#### 田中次期幹事

- いよいよ7月6日から佐藤尚士会長年度スタートです。7月6日は理事、役員、委員長の皆さんの就任挨拶ならびに方針をお願い致します。
- 7月13日（水）例会終了後、古志勝俊ガバナー補佐クラブ協議会。各委員会の出席者名を6月17日までに事務局までお知らせください。

## 委員会報告

- 親睦・出席委員会 佐々木会員  
出席報告
- 公共イメージ委員会 舟越副委員長  
ロータリーの友6月号の紹介

## プログラム

「職場訪問例会 JR西日本後藤総合車両所工場内見学」  
職業奉仕委員会

## ニコニコ箱

29,000 円  
櫻井（一年間ガバナー補佐としてお世話になりました。）

小林（①本日最後の昼の例会です。一年間ありがとうございました。②本日職場訪問例会です。和田会員お世話になります。）

谷口正（和田会員 !! 本日の職場訪問とても楽しみです。よろしく願います。）

信太（午後の診療が3時からのため、職場訪問にいけません。すみません）

木村（一年間つたない会場監督でした。皆様ありがとうございました。）

田中（上着を忘れました。おはすかしい。）

杉原、津久井、佐々木、櫻井（結婚月）

田中（入会月）

ベストメッセージ賞：該当者なし

司会 木村俊一郎会場監督

# 2021-22年度 活動報告

## 2021-2022年度を振り返って

2020年2月から本格化したCOVID-19 pandemicは大方の予想を裏切って今年度も最後まで続きましたがようやくwith コロナ体制に移行しつつあります。このような未曾有の危機にBCP対応するため2021年3月から仙田氏に依頼してZoomによるhybrid例会の準備を始め、今年度はすべてhybrid例会としてきました。そのお陰で今年2月のまん延防止等重点措置の間も他のRCの多くが休会する中、ホテル一畑の会場から私と景山幹事、木村(沖本)会場監督、事務局他と卓話の講師で通常通りのonline例会を継続することが出来ました。ハイリスクの方がonline参加されることでクラスターを防ぐと同時に出張中や多忙でも参加出来る便利さが定着してきたように感じます。さらに6月のホームページ改訂に合わせて他クラブからのonline visitor make up systemも稼働します。

今年度最大のイベントは松江RCのSDGsである松江 Young Leaders Rotary衛星クラブの設立です。年度初めに男女半々で10人の若手候補者（候補者の多くは舟越プログラム前委員長が選んだ卓話講師と松江RCのOBのご子息）を募って松江RC独自のYRCA（Young Rotarian Candidate Association）を設立、月1回の例会を通じて

会長 小林祥泰

新しいRCの姿を模索、1月には勝谷議長を中心とする衛星クラブ設立に漕ぎ着けました。中国地方初の衛星クラブで、4月27日には松本バスターガバナーを招いて簡単なチャーターナイト例会も開催しました。

コロナ禍の間となった10月には鳥取市で無事地区大会も開催され久々に会長幹事懇親会も開催され、YRCAが話題となりました。島村さん作成の立派なポスターは好評でした。多くの会員に参加頂きありがとうございました。

また、コロナが沈静化した11月に木次線観光トロッコ列車とたたら遺跡のPRを松江の大学生や高校生40名を招待して島根県とRC2690地区補助金で実施し、可部屋集成館での櫻井元会長の直々の解説も含め原田会員の山陰ケーブルビジョンや山尾会員の日本海テレビで大きく報道して頂きました。

さらにその勢いで家族忘年会も3年振りに開催、谷口親睦出席委員長率いる委員会のコロナを吹き飛ばす大活躍で大いに盛り上がりました。

また事務局の働き方改革に繋がる会員管理データベース導入も後藤会計の配慮で間に合わせる事が出来ました。この一年間大変お世話になりました。

## クラブ奉仕

副会長 河原八郎

小林会長年度を振り返って、コロナの感染数は減少していませんが、だんだんとコロナに対しての免疫もできてきたように感じています。小林会長は昨年末には収まる傾向にあり懇親事業も積極的に行えるのではないだろうかとのことで、コロナの鎮静化を見計らってRC2690地区補助金を活用した木次線のトロッコ列車乗車による大学生や高校生のSNS発信事業や家族忘年会などを計画して行い、その後新たなオミクロン株の影響により活動も制限されたものになりましたが有意義な事業ができたのではないのでしょうか。

今年度はコロナ禍でも積極的にZOOMによるハイブリッド例会に切り替え開催されるなど、他のロータリーに先駆けた取り組みを行いスムーズなクラブ運営ができたのとは感じています。

また、クラブ独自のYRCAから2022年1月12日にRI認可を受け第2690地区初の衛星クラブ（松江ヤングリーダーズロータリー衛星クラブ）が設立され若い経営者10名を迎え入れたことは、クラブの活性化に大いに寄与するものとなり出席率の向上に寄与するものと思います。

次年度におきましては、毎年楽しみにしています佐藤会員宅でのピザと焼き肉会、そば打ちの会、福田会員宅での穴道湖の幸を食する会などが開催できるようにすれば、もっと会員相互の懇親が深まると思います。

副会長としてあまりお役に立てなかったかもしれませんが、今年一年間大変お世話になりました。

## 奉仕プロジェクト

副会長 長岡住右衛門

前年度に続き、コロナ禍の中、どこのクラブも例会中止を決める中、小林会長の方針通り、ハイブリッド例会形式で休会せず、無事今年度を終える事が出来そうです。

特に、奉仕プロジェクトの大きな活動の木次線活性化事業の地区補助金事業も島根大学、島根県立大学、松徳学院高校の学生生徒の皆さんに参加をお願いしていただきましたのでコロナが少し落ち着いていたころの開催時期でタイミングの良さや学生生徒の皆さん、会員の協力により、無事終了しました。

当日の様子は日本海テレビ、山陰ケーブルビジョン、山陰中央新報に大きく取り上げて頂き、当クラブの奉仕活動として公共イメージ、社会奉仕、職業奉仕、青少年奉仕が地域に大きく貢献できた活動だったと思っています。

水郷祭、高専バザー、ヘルンのスピーチコンテストはコロナ禍の為、残念ながら中止となりました。

この一年、副会長として皆さんと活動できましたこと、感謝申し上げます。

## 会員維持・増強委員会

理事 杉原 有  
委員長 森岡隆行

7月1日58名でスタートし「純増最低2名増」「女性会員、若者会員を増やす」の地区目標に対し6月15日現在は入会11名、退会6名で会員数は63名。

衛星クラブは男性5名、女性5名です。したがってクラブ合計の会員数は73名となり純増15名となります。

小林会長の活動方針の中の衛星クラブ認可を目指すことが達成でき、「10名の衛星クラブ会員が誕生したことが増強に大いに貢献しています。また、コロナ禍の中、新しく地元企業から1名（中電プラント様）の入会にご尽力いただきました皆様による大きな成果です。転勤による後任の引継ぎもうまく連携していただきました。重ねて御礼申し上げます。

しかし、今年度は長く在籍された石飛博正会員が退会されたことは誠に残念なことでした。

新入会員の皆さん、衛星クラブの皆さんが例会に溶け込

んでいただけたのも会員の皆様、委員会の皆様の御協力によるものと感謝いたします。ありがとうございました。

新入会（2021年7月～2022年6月）11名

	会員名	事業所
2021.7.7	飯盛 勝	松江石油(株)代表取締役社長
7.7	津久 井宏	出雲空港ターミナルビル(株)取締役管理部長
7.7	日光 哲弥	清水建設(株)松江営業所長
7.7	山尾 義己	日本海テレビジョン放送(株)執行役員 島根総局長
7.28	中司 博文	中電プラント(株)山陰営業所長
8.18	加藤 隆宏	(株)日本政策投資銀行 松江事務所長
9.1	佐々木伸治	(株)中電工島根統括支社 執行役員 支社長
9.1	今村 勝	富士産業(株)山陰事業部長
2022.4.20	渡辺 賢二	大和証券(株)松江支店長
5.11	山田 一磨	住友生命保険(相)松江支社長
5.11	棚橋 学	日本航空(株)山陰支店長

衛星クラブ（2021年1月12日 RI認可 チャーターナイト 2022年4月27日）10名

	会員名	事業所
2022.1.12	勝谷 有史	(有)なにわ旅館 代表取締役社長
1.12	仙田 利夫	(株)文泉堂 代表取締役
1.12	青木 義親	平瀨八幡宮・武内神社 禰宜
1.12	大谷 聡介	一畑バス(株)取締役 観光部長
1.12	桑原 正樹	宍道湖漁協協同組合 参事
1.12	川井 香織	川井設計事務所 社長
1.12	片寄 洋子	(株)アトリカーサ 代表取締役
1.12	内藤 葉子	(有)風流堂 代表取締役
1.12	上田まり子	Food Marico代表
1.12	遠藤麻衣子	(株)LEMURIA 代表取締役

退会（2021年7月～2022年6月）6名

	会員名	事業所
2021.10.31	石飛博正	大橋館 社長
2022. 3.31	木田裕康	住友生命保険(相)松江支社長
3.31	沖本雅春	大和証券(株)松江支店長
3.31	澤山英治	日本航空(株)山陰支店長
5.31	今村 勝	富士産業(株)山陰事業部長
6.20	谷本英行	日本銀行松江支店長

幹事

景山直観

7月からハイブリッド例会が本格的にスタート、YRCAの発足、地区補助金事業と島根県経済文化振興会寄付金交付事業により「コロナ禍のたたら」の国トロッコ列車で木次線活性化PRプロジェクト、「松江ヤングリーダーズロータリー衛星クラブ」の認可、ホームページの改定作業、Twitterによる例会状況の発信など、大きな変革の年度になりました。withコロナの中、岩崎陽一ガバナーの提唱された、「ファーストペンギンたれ」を実行実証された小林祥泰会長の見識ある発案力と、パワフルな行動力推進力、判断力は、役員をはじめとして、会員全員をその気にさせて取り組んだ結果だと考えています。

ハイブリッド例会は松江市内クラブの中でも、取り組んでいるのは当クラブだけです。会員の皆さんもリアル出席かオンライン参加かご自分の都合に併せ選択できることは今の時代に必要なことになっています。オンラインに慣れている会員も多く、順調にハイブリッド例会に移行できました。

4月からは、正式にオンライン参加者も出席率に反映されることになりました。

2022年1月12日念願であった、「YRCA」が「松江ヤングリーダーズロータリー衛星クラブ」に改組。RI理事会の認可を頂き、4月27日にはチャーターナイト例会を開催することができました。

第2690地区では初の衛星クラブ誕生です。10名のメンバーはヤングリーダーズという名前に劣らず、行動力の速さに驚かされています。チャーターナイト例会の準備も衛星クラブ会員の役割が明確化され、彼らの手ですべて行い素晴らしいスタートを切ることができました。積極的にスポンサークラブ例会にも参加し、溶け込んでおられるのも、スポンサークラブの会員の皆さんの応援による所が多く、今後も温かい目でご支援、ご協力をお願い致します。

地区補助金事業「コロナ禍のたたら」の国トロッコ列車で木次線活性化PRプロジェクト、はコロナに振り回され、当初プロジェクトが変更になった事は、とても残念でしたが、「木次線沿線をPRするプロジェクト」に変更する事で承認されました。また、会員の情報により「島根県経済文化振興会寄付金事業」の申請を行い受理され、無事、計画したプロジェクトをすべて完了する事が出来ました。

島根大学、島根県立大学、松徳学院高校の皆さんが、このプロジェクトを単なる観光ととらえず、木次線沿線を大切に思い、今後も盛り上げてくださることが分かった事も大きな収穫でした。また、この時に始めた例会報告を始めとする松江RC Twitterも、フォロワーが100を超え国内はもとより、海外RCにまで広がりを見せています。プロジェクトの準備から冊子完成までご協力頂きましたこと御礼申し上げます。

ホームページも改定作業を進めました。容量を増やし、今までの活動、衛星クラブ等、いつでもほしい資料が取り出せます。また、他クラブからのオンラインビジターメーカーシステムは、カード利用機能まで付いて稼働します。

親睦活動はコロナ禍で断念したものもありますが、家族忘年会が開催できたのは、クラブ奉仕担当の河原八郎副会長はじめ谷口正人親睦・出席委員長、委員会の皆さんの協力によるところが大きかったことは、皆様ご承知の通りです。

昨年に続き、職場訪問は和田昇司職業奉仕理事にお願いし、6月8日(水)、めったに見ることができないJRW西日本後藤総合車両所の工場を見学させて頂きました。(参加者16名)

その他、財団寄付、米山寄付は内田寛財団理事にお世話になり、目標の達成に邁進して頂きました。

- ・地区大会 10月24日(日)とりぎん文化会館 登録会員32名、事務局1名、参加10名
- ・インターシティーミーティング 3月13日(日) コロナ禍でWeb開催 ホスト：出雲RC
- ・松江4クラブ合同例会

夏は中止、冬は1月27日(木)ホスト：松江東 コロナ禍の為、変則的に人数制限して開催 新入会員、会長、副会長、幹事が参加 盛りだくさんの事業を無事終え、目標のロータリー賞をとることが出来そうです。

会員の皆様ご協力ありがとうございました。最後になりましたが、島村事務局員さんには、言葉では伝えきれない程お世話になりました。御礼の大拍手を送らせて頂きます。ありがとうございました。

プログラム

委員長 大居慎治

今年度も感染防止の観点から県内、特に松江市内の演者を前提とした。例年通り親睦のため新会員のスピーチをできるだけ早い時期にお願いするとともに、会長、ガバナー補佐、副会長、次期会長などクラブ役員の方々によるお話をいただいた。名誉会員の市上市長にも就任早々にご講演いただいた。

今年度の特徴としては、会長のお考えである多様性を尊重する(「若者、馬鹿者、よそ者」を尊重する)という方針を実現するよう心がけた。このうち少なくとも若者については若手市会議員や衛星クラブメンバーにスピーチをしていただくことができた。

また、一大事業として当クラブで取り組んだ木次線活性化プロジェクトに関するスピーチも実現した。

ハイブリッド方式の例会開催となり、県外からのリモートでのスピーチも可能で、今後の課題と思う。

会場監督

委員長 木村俊一郎

前年度同様コロナ感染のリスクに配慮が必要な状況の下でしたが、皆様のご協力で概ねスムーズな例会運営ができたのではないかと考えております。

今年度はZoomを活用したいわゆるハイブリッド形式の例会となりましたが、年度途中にPCなど機器を更新していただきオンライン環境は格段に改善いたしました。ただ、当初は機器の取り扱いに不慣れな点があり、オンライン参加の方々には「音声がかえらない」、「スピーカーのプレゼン画面が見づらい」などご不便・ご迷惑をお掛けしたことをこの場をお借りしてお詫びいたします。

拙い会場監督でしたが一年間ご協力いただきありがとうございました。

親睦・出席

委員長 谷口正人

- ・例会時の受付

新入会員の皆様で月毎に担当を決め、順番に例会入口に立って出席の皆様にご挨拶させていただきました。コロナ禍でイベントが少なく、なかなか顔が覚えられない中でしたが、少なからず貢献できたと思います。また、担当月ではなくても自主的に入口に立っていただけることも多く、委員会の中で会話が弾みました。

- ・2021年11月20日(土)地区補助金事業に参加、応援 「おろち号とたたら」小冊子によるトロッコ列車

PRプロジェクト 天気に恵まれ11月とは思えない素晴らしい天気の中、無事終了しました。残念ながらトロッコ列車も廃止が決まっていますが、魅力がいっぱいの沿線スポットを今後もロータリーとして応援していきたいと思っています。また、この企画で高校生、大学生との交流が図れ、彼らが思った以上に木次線を大切にしてくれていると確認できたことは、大きな収穫でした。

・2021年12月15日(水)

家族忘年会 会員43名、奥様8名参加

コロナ禍ではありましたが、運よく感染者減少傾向時期と重なり、久々の親睦活動ができました。新しい企画も入れたことで、大変盛り上がりました。皆様のご協力に感謝します。最終夜間例会もこのまま無事開催できるよう切に願っています。

・2022年5月22日(日)

春季ゴルフ大会 島根ゴルフ倶楽部 9名参加

残念ながらコロナ禍により、蕎麦打ちの会、宍道湖の幸を食べる会、新入会員歓迎会は開催できず、親睦を深める機会は少なくなりましたが、家族忘年会、補助金事業という大きな活動が開催できたことは幸いでした。次年度は70周年記念例会、地区補助金活動「松江堀川魅力アップ大作戦」も開催予定ですのでコロナが収まることを願っています。

会員の皆様、委員会の皆様のご協力に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 公共イメージ委員会

委員長 川内孝治

・例会ごとに週報作成及び配付。

当クラブの伝統である「ひとこと随想」は会員各位の協力なくしては継続出来ません。松江ロータリークラブの会員の皆様のご協力を得ておかげさまで無事、1年間毎週掲載できましたこと、厚く御礼申し上げます。

・ロータリーの友の紹介

毎月第2例会ではロータリーの友の記事紹介を舟越副委員長の協力を得て無事実施出来ました事も厚く御礼申し上げます。

・ハイブリッド例会の恒常の実施

今年度はハイブリッド例会スタート年度であり、「音が聞こえない」「画面が見づらい」等々、数々のトラブルを乗り越え、4月から画面共有もできるようになりました。コロナ禍で例会形式が変わり、オンライン参加も増えてきています。

・松江ロータリークラブホームページリニューアル

ホームページには週報、地区補助金活動、YRCA、松江ヤングリーダーズロータリークラブに関するものをアップしています。現在、ホームページは改定中で、今年度中には新しいものになります。いつでもほしい資料が取り出せるようにもなります。他クラブからのオンラインビジターメーキャップシステムも稼働します。

・ロータリーの友への掲載

ロータリーの友3月号には小林祥泰会長の「トロッコ列車存続を願って若者がSNS発信」と、松江ヤングリーダーズロータリー衛星クラブについての紹介記事が掲載されました。

・トロッコ列車の認知度アップアクション実行

今年度より公共イメージ委員会と名前が変わりましたが、地区補助金活動「おろち号とたたらの旅」小冊子によるトロッコ列車PRプロジェクト、毎週幹事による例会の様子をSNS発信し、松江ロータリークラブの社会奉仕活動として一層認知されたと思います。

## 財団委員会

委員長 内田 寛

今年も会員各位にお願いし5月18日から最終夜間例会までの間、財団米山の寄付のお願いをしております。

2021年12月22日 米 山 250,000円

2022年 2月19日 ポリオ 50,000円

2022年 5月18日 財 団 150,000円

ポリオ 30,000円

米 山 60,000円

5月25日 財 団 195,000円

ポリオ 50,000円

米 山 20,000円

6月1日 財 団 40,000円

ポリオ 10,000円

6月8日 財 団 50,000円

財団ランチ相当の食事 6回 378,000円

ウクライナ緊急支援の募金46,500円はガバナー事務所よりロータリー財団へ寄付されました。

今年度の一人150ドルを目指し、例年同様、不足分は二コニコ箱から支出して目標達成を目指します。ロータリー賞受賞にむけて、皆様にはご協力いただき有難うございました。

## 職業奉仕

理事・委員長 和田昇司

①職場訪問例会

6月8日(水)「JR西日本 後藤総合車両所工場内見学」

普段見ることができない設備や車両の修理・点検過程見学

②2021-22年度地区補助金申請

「おろち号とたたらの旅」小冊子によるトロッコ列車PRプロジェクト

③島根県経済文化振興会寄付金交付事業申請

「たたら国トロッコ列車おろち号PRプロジェクト」

コロナ禍により当初のプロジェクトが12月末まで観光を含むプロジェクトが出来なくなったためこの寄付金を申請。

11月20日(土)島根大学(19名)、島根県立大学(10名)、

松徳学院高校(11名)、会員(31名)参加。木次駅から

おろち号に乘車、その後たたら関連施設を見学、松江帰着。

この間に大学生、高校生、当クラブ会員によるSNS発信、

CATV、日本海テレビ、山陰中央テレビ等の取材もあり、

テレビで放送の他、鉄道マニア団体を通じて全国に発信。

山陰中央新報にも掲載。おろち号の素晴らしさ、またその

背景にあるたたら歴史全国の鉄道ファンにも知ってもら

うことにより木次線沿線のPRを行った。

## 社会奉仕

理事・委員長 谷本英行

①令和3年熱海土石流災害被災者に対する支援金 7月14日 27,500円

②佐賀、長崎豪雨災害義援金 9月8日 33,500円

③ウクライナ緊急支援 3月16日 46,500円

④松江市成人式広告協賛(松江4クラブ合同事業)

各クラブ5,000円 1月9日開催

⑤松江水郷祭推進会議総会 出席(川内孝治理事・代理出席) 12月23日

⑥2021-22年度地区補助金申請

・「おろち号とたたらの旅」小冊子による

トロッコ列車PRプロジェクト

・小冊子を作成し、関連事業所に配布

・島根県経済文化振興会寄付金交付事業申請

・「たたら国トロッコ列車おろち号

PRプロジェクト」

11月20日  
開催

地元の高校生や大学生におろち号の素晴らしさや、たたら製鉄の歴史、JR木次線沿線の自然・文化を体験・見聞してもらった。その模様を地元のみならず全国に向け情報発信することにより、木次線活性化や観光資源のPRに貢献した。

## 国際奉仕

理事・委員長 高梨泰至

①コロナ禍により島根大学留学生交流会中止

②ヘルンスピーチコンテスト中止

③ウクライナ緊急支援 3月16日 46,500円

④財団寄付、米山寄付の協力

## 青少年奉仕

理事・委員長 井上晴夫

①コロナ禍により松江高専祭中止

②ヘルンスピーチコンテスト中止

③2021-22年度地区補助金申請

「おろち号とたたらの旅」小冊子によるトロッコ列車PRプロジェクト

小冊子作成し、関連事業所に配布 500部作成

④島根県経済文化振興会寄付金交付事業申請

「たたら国トロッコ列車おろち号PRプロジェクト」

コロナ禍により当初のプロジェクトが12月末まで観光を含むプロジェクトが出来なくなったためこの寄付金を申請。

11月20日(土)島根大学(19名)、島根県立大学(10名)、

松徳学院高校(11名)、会員(31名)参加

木次駅からおろち号に乘車、その後たたら関連施設を見学、

松江帰着。この間に大学生、高校生、当クラブ会員によるSNS発信、

CATV、日本海テレビ、山陰中央テレビ等の取材もあり、

テレビで放送の他、鉄道マニア団体を通じて全国に発信。

おろち号の素晴らしさ、またその背景にあるたたら歴史全国の鉄道ファンにも知ってもら

うことにより木次線沿線のPRを行った。

山陰中央新報にも掲載。

小冊子作成にあたり、小泉凡 島根県立大学名誉教授にも

協力いただきました。

# 職場訪問例会 JR西日本後藤総合車両所工場内見学

職業奉仕委員会 令和4年6月8日

